

テーマ型協働事業に対するコメント概要

事業名	つけよう、いのちを照らす反射材！！	
実施団体名	特定非営利活動法人 わをん	
協働団体	今治警察署	
テーマ提示課	今治市市民生活課	
事業概要	<p>超高齢社会の今、高齢者の交通事故が社会問題になっている。その立場は加害者側でもあり被害者側でもある。人生の仕上げの時に悲しい思いをしないよう、今回は被害者にならない点に重点を置き、交通事故から高齢者を守るための有効手段としての夜間の反射材着用率を上げていくこと、また高齢者支援の専門家である介護サービス事業所と交通の専門である警察署との連携を構築し、地域社会の生活安全に繋げる。</p>	
補助額	市補助額 260,000円 (総事業額 428,547円 補助対象経費 381,547円)	
コメント	実施団体	<p>平成30年度の高齢者の交通安全対策である、反射材の着用率を上げるための活動は、今治市市民生活課の職員、今治警察署の交通課と地域課の警察官多数の協力のもと、市内13カ所で高齢者を対象に直接反射材シールとストラップを貼付することが出来ました。貼付場所としては、高齢者施設、病院、スーパー、商店街など的高齢者が集まるところを重点的に行いました。</p> <p>また、啓発活動のポスターは市内200カ所(市役所、支所、公民館、病院、施設、金融機関、企業、店舗等)に掲示して頂いたり、小学校の福祉授業でポスターを見てもらい交通安全の大切さを広報しました。ポスターも反射材シール、ストラップも人気者のバリイさんのデザインであるため、高齢者にもそれ以外の年齢層の方にも好評でした。貼付活動の中で、高齢者支援に関わる市内の地域包括支援センター職員の方たちも協力していただき、高齢者の安全は地域のみんなで支えることの大切さを改めて感じました。</p> <p>活動のスタートである「地域交通会議」では児童民生委員の方や公共の交通機関の職員、福祉用具貸与事業所など多方面からの参加で意義のあるディスカッションをし、若手警察官対象の高齢者疑似体験研修を行ったことは活動が順調に進んだ理由に挙げられます。また、活動期間中に新聞に掲載していただいたり、テレビやラジオに取り上げていただきました。年末には今治警察署より感謝状を頂き、今後の活動のモチベーションを上げることが出来ました。</p>
	市民活動推進委員	<p>NPOとして活動実績があり、活動から地域課題を抽出して、他機関と連携して取り組むことが課題解決に繋がることを熟知し「官民一体」となった活動ができていた。他方、今後更に効果的な事業とするために、自治会や交通安全協会等関係団体や企業との連携、マスコミの力を借りての活動周知、テーマ型協働推進事業という新たな取り組みで得た課題等を行政へアプローチすることなどが大事と考える。</p>
	テーマ提示課	<p>「反射材の着用率を上げていく」という目標に向かって、適切かつ効率的な事業計画・予算計上が立てられており、事業主体を中心に各団体が相互協力のもと、十分すぎる程の活動がなされたと感じている。</p> <p>人気の「バリイさん」をデザインした反射材を製作し、今治警察署はじめ、市内の地域包括支援センター、民生委員、介護保険関係施設等多方面にわたりネットワークを構築し、適切かつ効率的な事業計画・予算計上がなされており、事業主体を中心として各団体相互協力のもと事業を推進されたと思う。</p> <p>事業主体の特定非営利活動法人わをんは、平成13年の団体創立時から高齢者の安全を柱に活動してきた団体で、平成16年から高齢者の交通安全対策を現在まで取り組んでおり、平成30年度には今治警察署から感謝状が授与されるなど安定・継続した活動を行っており、共に今後も交通安全対策を推進していきたいと思える団体である。</p>